

目次

序	岡山 裕	i
中東の正統性と国家崩壊		
—ウェーバーで考えるシリアとイラクの事例—	麻生 凡	1
大正期の不良少年少女		
—雑誌『変態心理』を通して—	五十崎 史歩	33
なぜ日本人の中国観は不寛容なのか		
—朝日新聞の社説分析を通して—	太田原奈都乃	57
東ティモールにおける平和維持活動の効果に関する要因		
—紛争国側と国連側の協力関係—	川人 菜優子	89
難民の流入と国内紛争	栗田 憲	111
定員審査にみる人事行政		
—内閣人事局設置による影響の検討—	白石 圭佑	129
諸学に働きたもう神		
—ボナヴェントウラの法学観—	田中 稔十	159
戦時下の「少国民」への啓蒙と普及		
—日本少国民文化協会の活動を通じて—	登坂 咲代子	183
「個人指向」の時代へ		
—消費社会論から日本人の社会的性格を再考する—	平 沼 絵 美	211
ソ連外交とヨーロッパ、1952～1955年		
—ワルシャワ条約機構の形成—	堀田 主	239
A Study on the Possibility of Legalizing Euthanasia in Japan		
.....	MIYAZAWA, Gimpei	269
「モダンガール」再考		
—雑誌『女性』を通して—	吉武 英 莉	293

2018年度 政治学科ゼミナール委員会活動報告…………… 317